

平成27年度第3回新名取市図書館施設整備検討委員会議事録

会議名	第3回 新名取市図書館施設整備検討委員会	
日時	平成27年8月28日(金) 13時35分～15時15分	
場所	名取市図書館 南館	
出席者 【13名】	委員6名	早川光彦、志賀保史、佐伯幹子、板橋正春、三塚玲子、 下澤なおみ
	アドバイザー	岡本真
	事務局5名	生涯学習課 佐々木賢一課長補佐 図書館 柴崎悦子館長、石川雅一主査、西山真喜子司書
	説明員2名	増田復興再開発推進室 笠松春久技術主幹 株式会社山下設計東北支社 大平順子主任
欠席者	委員3名	天間環、長沼明子、大野千晴
傍聴者	なし	

1 開 会

◎事務局

定刻を少し過ぎてしまいましたが、平成27年度第3回新名取市図書館施設整備検討委員会を始めてまいります。開会に当たりまして、あいさつを早川委員長にお願いしたいと思います。

2 あいさつ

◎早川委員長

皆さん、こんにちは。第3回目の検討委員会となります。新図書館に向けての準備ですが、新たな司書の募集が行われたということで、職員体制も整備されつつあると認識しているところです。また、図書館の資料についても、スタッフによって順調に整備が進むものと期待をしています。

今回の委員会では次第にありますように、3階フロアの内容構成についてということで、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上であいさつとさせていただきます。

◎事務局

はい、ありがとうございました。続きまして、本日の会議ですが、新名取市図書館施設整備検討委員会設置要綱では、会議出席者数による定義は特にございませんが、欠席された委員は3名です。

それから第3号委員の福間委員ですが、ご主人のお仕事の関係で名古屋へ転居されたことにより委員から退くこととなりましたこと、この場でご報告させていただきます。

なお、委員の補充につきましては要綱で謳っておりませんので、現在の9名という人数で今後進めていくこととなりますのでよろしくお願いします。

本日の会議は、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により公開の対象となりますが、本日傍聴の方はいらしていません。

また、非公開となるような議事の予定はしていませんが、非開示情報が含まれる場合は、会議に諮り決定していただくことになっております。

なお本日の会議録につきましては、名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条の規定により、市政情報コーナーで会議を開催した日が属する年度の翌年度の4月1日から起算して3年間、閲覧に供される他、インターネット上、市のホームページに1年間公開されます。公開時の名前は、名字 ○○委員と表記されますのでご承知願います。

3 前回会議の報告

◎事務局

次に前回会議の報告になりますが、その前に、前回一部の委員に対して通知漏れてしまったこと、大変申しわけございませんでした。前回会議と第1回目の議事録を起こしておりませんでしたので、本日お手元にご用意しました。かなりボリュームがありますので、本来事前にお読みいただくように送付すべきでしたが、本日にぎりぎり間に合ったということもありまして、後ほどご一読いただきまして、誤り等がありましたら生涯学習課もしくは図書館までお問い合わせをいただきたいと思っております。

加えまして、第2回について皆さんへの通知に不備がございましたので、その概要について柴崎館長よりお伝えしたいということですので、よろしくお願いします。

◎柴崎館長

それでは前回の検討委員会の概要について説明します。

図書館から、2階フロアの内容について、資料に基づいて児童スペース、カフェコーナー、ブラウジングコーナーの設備等の考え方について説明しました。委員の皆様からいただいた主なご意見等を紹介しますと、

「おはなしのへやは、建物に制約がある分家具を大事に考えなければならない」

「児童スペースの座席数は、小学生1クラスが入った時に座れるぐらいの席数を確保」

「カフェコーナーについて、2階フロアは全てフローリングとし、他のスペースと区別し色調は落ち着いたシックなものを検討。また、貸出しした本を持ち込みしてもよいかどうかについて、貸出しするうえで汚れるリスクはあることから、持ち込んで飲み物を飲みながら読んでも差し支えないのではないか」

「ブラウジングコーナーについて、新聞コーナーと雑誌コーナーは離し、1枚もののチラシを綺麗に見せることのできる木製の棚を設置すべきである」

以上となりました。詳しくは議事録を読んでいただきたいと思います。

◎事務局

今回の会議の進行の中も含めまして、ご質問等がございましたら後程お願いします。

4 議事

(1) 3Fフロアの内容について

◎事務局

それでは、議事に入ってまいります。議事の進行は早川委員長に運営していただきたいと思います。よろしくお願いします。

◎早川委員長

ただ今事務局から前回会議の、主に2階のフロアの内容と構成についての報告をいただきました。今回は3階のフロアの内容と構成についてご審議をいただくこととなっております。それでは事務局から説明をお願いいたします。

◎柴崎館長

それでは説明させていただきます。

3階フロアは一般向けの図書のフロアとなっています。前々回の研修会の最後に少し説明させていただきましたが、2階はフローリングで、3階は静寂なフロアとして床をカーペット仕上げにしたいと考えています。

主なスペースとして、一般開架、準開架書庫、学習室、情報発信コーナーがあり、まずは一般開架、準開架書庫、学習室について説明させていただいて、最後に情報発信コーナーを別途説明させていただきたいと思います。

一般開架スペースの設備等の考え方について、床仕上げはタイルカーペット、壁仕上げは塗装、一番重要になると思われる書架について、イメージとしては全く同じではないですが、資料に載せた白河市立図書館の書架のように、6段の照明付き書架を考えています。このような書架を普通に並べても単調になってしまいますので、その横にあります南相馬市立中央図書館の2枚の写真のように、所々に本の展示台や、ミニカーを飾れるガラスの展示棚を置き、その傍に車関係の図書を置いて単調にならない工夫ができるようにしたいと考えています。

それからカウンターについては、3階の真ん中よりも若干右寄りに配置し、その右隣には閲覧机を並べたいと考えています。この写真は一関市立図書館のもので必ずしもこの通りにはなりません。イメージはこのような閲覧席をつくりたいと思います。

前回の会議で説明しましたが、以前は吹き抜けがありましたが無くても館内は明るいだろうということで無くしました。そうしたことにより 3 階部分にスペースができますので、2 階児童スペースに設置検討していましたが中高生のためのヤングアダルトコーナーを、3 階の西側の端に設けたいと考えております。写真は白河市立図書館のティーンズコーナー、いわゆるヤングアダルトコーナーになります。青い紙に貼ってあるのは、高校生が自ら本の紹介を書いたもので、いろいろな工夫がされております。

その隣はバルコニーになります。床はウッドデッキで写真のようなものをイメージしています。

次に準開架書庫につきましては、同じく床はタイルカーペットで書架の段数は一般開架よりも若干高く 7 段書架とし、他のスペースより書架と書架の間を詰め通路幅を狭くすることで収蔵冊数を確保したいと考えています。

それから学習室になりますが、西側北角にガラス張りの間仕切りを付け、利用者が図書館資料以外の資料を持ち込んで学習する場所になります。

3 階フロアは大人がゆったりと本を探したり、読書をしたり、学習もできるような場所となります。

【一般開架スペースについて】

◎早川委員長

それでは、まず一般開架スペースの構成と家具についてご意見をお願いします。

◎佐伯委員

丸いテーブルに本をただ単に並べたり、インテリアのような雰囲気を出したりするのではなく、南相馬市立図書館の写真のように、テーブルの上に「今月のお薦めの本」のように載せる感じなのでしょうか。

◎柴崎館長

同じような形の書架ばかりが館内に並んでしまうと非常に単調になってしまい、利用者にとって分かりにくくなってしまいますので、丸か四角か形の検討はこれからになるが、所々にこのような展示台を置いて、いろいろなテーマを決めて、図書館員が本を並べて利用者に紹介するというようなコーナーを所々につくりたいと考えています。

◎早川委員長

補足説明になりますが、南相馬市立図書館の例として、年間通して常に 20 テーマの企画展示を行っています。

この写真の場合は、地域再生を考えるとという企画展示です。深刻なことなのですが、南相馬は未だに農作物が震災前のように作ることはできません。この展示は農業関係が含まれていますが、土に放射性物質が付着した場合に農作物を今後どのように作っているか、土壌改良の専門誌を並べているコーナーです。

また、ミニカーのショーケースは子ども達に非常に人気です。分かりやすいように目の前の棚は車の本のコーナーになっており、より多く置くようにしています。

コーナーの入口や見やすい場所にどのような企画をしているのか、棚毎に本の種類がまとまり随所に分かりやすく楽しい雰囲気が出されていると、図書館内の蔵書が分かりやすくなり手に取りやすくなります。

写真の丸テーブルは設計当初から企画展示用に考えられたものです。本が斜めに入るように切っており、右側の写真は現在どういう展示をしているかが分かる展示サインを最初から造っており、このようなものがあちらこちらにあります。

どのような企画展示をするのか、また他のものにも使えるように家具設計を進めるということが重要であると思います。

◎三塚委員

利用者が本を読みやすく、または調べやすくするために、書架の脇や書架と書架の間に一人分の椅子を置いても良いのではないのでしょうか。

◎柴崎館長

今の図書館でも利用者は書架の脇の椅子を使っていますし、本を読む時にはとても便利なので新図書館でもそのようにしたいと考えています。南相馬市立図書館では書架間に椅子がありライトも点くのでとても居心地が良く、そのようなアイデアを取り入れてつくっていきたいと考えています。

◎志賀委員

テーブルの数はいくつぐらいですか。また、カウンターのレイアウトは島型で考えているのでしょうか。

◎柴崎館長

椅子も含めて閲覧機は限られた面積内でなるべく多く置きたいと考えています。

カウンター近くのレイアウトは、閲覧機やパソコン専用コーナーの設置をイメージしています。

椅子や閲覧機の数については、(株)山下設計の太平さんから説明していただきます。

◎大平主任

椅子の数は、現時点において、学習室と情報発信コーナーの座席数を含めず、書架脇のスツール、閲覧用机に備わっている椅子やバルコニーの座席数で約 120 席あります。

◎板橋委員

カウンターは島型になるのでしょうか。

◎柴崎館長

そのように考えています。主にレファレンスカウンターとして調べものの相談にのるカウンターになります。それから利用者の持ち込み資料で勉強するスペースは学習室を想定しています。

◎板橋委員

席の配置等の分かる詳細図面は無いのでしょうか。

◎柴崎館長

以前お配りしたものは、イメージしやすいように家具を仮配置したものです。どのような家具にするのか、配置にするのかはこれからになります。今日は事務局の考えをお伝えしていろいろなご意見をいただいた上で、今後検討していくことになりますので最終的なものではありません。

◎板橋委員

どこの図書館でも展示はされていますが、どの書架にあるのか本の案内までできるということでしょうか。また閲覧席の配置についても意見を申し上げてよいのでしょうか。

◎早川委員長

事務局に確認ですが、今日はこの委員会で 3 階フロアのご意見を伺ったうえで、詳細な家具設計を進めていくということでしょうか。

◎柴崎館長

そのとおりです。

◎板橋委員

6 段の書架を全面的に並べるということでしょうか。

◎柴崎館長

必ずしも図面のような形とは限りませんが、6段書架を全面的に並べるつもりです。したがって、単調にならないようにあちらこちらに細かい工夫を凝らし変化をつけたいと考えています。

◎下澤委員

書架のことですが、2階フロアでは木製家具を入れて柔らかい雰囲気するというので進んでいると思いますが、3階フロアについても予算の問題が出てくるでしょうが、木製の書架にして、今の図書館のような柔らかい雰囲気を出せるといいなと思います。

◎柴崎館長

2階フロアについてはオール木製で考えています。

書架は全て木製にしたいという希望はあるのですがかなり高価ですので、限られた予算内に収まるように3階フロアについては、側面・天板は木製で、中の棚板はスチール製を採用しなければならないかもしれないと考えています。

図面にある白河市立図書館は濃い色調ですので、今の名取市図書館とはだいぶイメージが違います。ただしいろいろな色がありますので、今の柔らかい図書館の雰囲気を新図書館に持って行けるような色合いの書架にしたいと考えています。

◎板橋委員

情報発信コーナーにも書架はあるのでしょうか。

◎柴崎館長

あります。

◎三塚委員

小便器の上に小さい棚があると便利だと思いますが、設置の予定はありますか。

◎大平主任

設置を予定しています。

◎早川委員長

木製書架について予算を伴うことですが、その範囲内で木の温かみを活かした家具を目指してがんばってほしいと思います。なるべく木製に近づけて下さい。

図面の南相馬市立図書館の書架は、棚がスチール、間仕切りや背板に和紙入りガラスを組み込んでおり、本が活き、非常に温かみのある棚となっています。

2点目ですが、三塚委員がおっしゃったように、本を手にとって読む時に近くに椅子やテーブルがあるというのは大事なことです。ぜひ家具配置の際に検討して下さい。

3 点目です。座席数が 120 席というのは足りないと思いますし、スツールは個人的には反対です。理由は書架側板に置かれたスツールに座って足を組まれるとその前を利用者が通りづらくなるということと、書架の間に入りづらくなってしまうからです。人の行き交う所ですのでスツールではない選択肢を持っていただきたいと思います。利用者の動線を邪魔しない形で座席を確保するというのが鉄則の一つになりますので、ぜひいろいろな図書館を研究して機能重視の家具配置をしていただければと思います。

◎板橋委員

パソコンを持ち込めるようにしましたが、閲覧席全ての席にコンセントは不要ではないでしょうか。費用が余分にかかると思いますがいかがでしょうか。

◎柴崎館長

費用について現時点では分かりませんが、閲覧席にライトは全席付けたいと思いますし、パソコンを使うコーナーはOAフロアにしたいと考えています。

◎岡本アドバイザー

おそらく配線は数が多ければ費用が高くなるのは事実ですが、ケーブルを引いて通すので数が多いからといって極端に高くなるものではないと思います。先々を見据えると配線・配管まわりは最初から付けていた方が良く、後付けで工事するとなると大変なことになると思います。また社会の動向が変わった際に柴崎館長がおっしゃったように手元の照明を取る必要が出てくることも考えられますので、電源まわりは最初から造っておいた方が良いでしょうと思います。

また、先ほど本棚に対する意見がありましたが、委員の皆様、市民の一人としてご理解をいただきたいと考えます。図書館の什器は大変高いです。よく市民説明会でイケアで買えばもっと安く調達できるのではないかと問われるのですが、イケアで売っているものを 10 年図書館で使い続けると棚板はたわんできます。公共図書館の場合、20 年から 40 年間使い続けることが前提ですので、トータルで見ると決して高いわけではありません。イケアのものは 5 年ぐらいで買い替えられることを想定して売られています。一般家庭であれば問題ありませんが、図書館という場所を考えるとそれなりに耐久性のあるものが必要になってくると、安全性ですね。イケアのものは安全性が悪いわけではないのですが、万一書架が倒れて市民が被害に遭うようなことが起きてはいけませんので、専門事業者のもので耐震性に関しても十分に検証されているものを入れていく必要があると思います。その点でどうしても一般価格と比べると高くなってしまいますが、市民の命を守るという観点も含めて考えるということのご理解をいただければと思います。一般的にスチール製よりは木製の方が高くはなるというのは事実です。

◎早川委員長

私の経験を申し上げますと、岡本アドバイザーの言ったように、設計段階で可能な限り配線を多く付けるべきです。費用は極端には高くなりません。将来的な図書館の姿を考えると、パソコンやタブレットの利用は今後ますます増えていく一方だと思われます。

南相馬市立図書館の例ですと、人が座る所にはコンセントを設けています。

新しい図書館の使い方として考えなければならないことは、紙の本や雑誌ばかりではなくパソコンやタブレットの利用についてです。後付けは非常に大変で収まりも悪くなります。

図書館でパソコンやタブレットを使われる方は滞在時間が長くなりますし、Wi-Fiの環境もここで準備されるはずですので電源の確保は重要となります。配管を通さないと配線できませんので、設計段階で緻密に検討することが大事です。事務局は大変でしょうが、電気の配線図ができてきたらコンセントはどの位置にあるのか、どのように使われるのかを必ずゾーン毎に確認してください。

◎板橋委員

以前と比べると変わってきていますね。

◎佐伯委員

今はマクドナルドの店内の一角にもコンセントが設けられていて、充電できるテーブルがありますね。

◎早川委員長

これから紙の本・雑誌でいろいろな知識を得ることができ、デジタルを主とした情報を入手する場所になりますので、特にコンセントは重要だと考えます。南相馬市立図書館では、外国から観光で来た方の連絡を取る手段はメールなので、Wi-Fiから自分の国とメールのやり取りをしていましたので、名取市の場合は駅前の図書館として情報を得やすい環境を整えておくというのは必要であろうと思います。

◎岡本アドバイザー

あとは運用をどうするかですね。今のところ携帯電話やゲームの充電は禁止としている図書館が多いようですが、携帯電話は駄目でスマートフォンは良しとするのか、ゲーム機も一律に駄目といえるのか、線引きは非常に難しいと思います。ゲーム機の中でも学習用だと言い張れるソフトは出ています。席を他にも使いたい人がいる場合に大切なのは譲り合いであるわけだから、私はこの部分はなるべく柔軟で緩やかなルールを作り、図書館側は利用目的をあまり詮索しない方が良いのではないかと考えます。

◎早川委員長

岡本アドバイザーにお聞きしたいのですが、いろいろな図書館をご覧になって照明付き書架のご意見をお願いします。

◎岡本アドバイザー

見た目が映えるところもあり今流行っていますね。本棚の一番上の所にライトがあり間接的に照明する形となっています。照明付き書架は上から見ると見た目が悪いこともありますし、そこまで照明を入れないといけないものなのかという考えもありますので悩ましいところですね。

書架に照明を付けているケースですと、館内全体はあまり照明を使わず、家具照明で館内全体を明るくするという考え方になっています。電力消費としてはどちらも大差ないだろうと思われれます。館内の雰囲気や明るさはイメージが変わると思います。

最近は明かりを調節して燦燦として感じを出すより、書齋のような雰囲気を出している図書館ですと照明付き書架を入れているケースが多いですね。維持管理をするうえでどちらが楽かということもあります。電球を交換する際は業者に依頼することになりますので、楽なのは大きい照明を付けた方がよろしいでしょうし、書架照明はそれと比べると数が多い分手間がかかるという話を聞きます。

◎板橋委員

一般閲覧席の照明は自分で点けたり消したりできるわけですので、必要ない場合は点けずに済むわけですね。閲覧席の必要性と比べると書架の照明は不要ではないでしょうか。

◎早川委員長

事務局に確認ですが、照明付き書架について付けるのか付けないのか柔軟に考える余地はありますか。

◎柴崎館長

これから検討していくことになります。

◎早川委員長

非常に高い吹き抜けのある図書館では光の量が足りないのではないかという心配から照明付き書架はかなり有効だと思われれますが、新図書館は天井がそれほど高くありませんのでメイン照明で適正な照度を確保できると考えます。個人的な意見で恐縮ですが、見た目が好きになれません。一人分の閲覧席を照らすというのは素敵でいいものだと思います。

いますが、活字が読みやすい照度はフロア全体で確保して、書架照明は無い方が資料を見やすいのではないかと思います。

◎板橋委員

私もその意見に賛成です。それと白河市立図書館の書架の色彩は暗い色を使っていますが、なるべく明るい色にして館内を明るくしてほしいと思います。

◎岡本アドバイザー

白河市立図書館は、窓が大きく周囲を見渡すことができ、空間的広がりがあるような雰囲気があるので、この部分でバランスを取っていると思います。

新図書館でこのような落ち着いた感じの書架を入れると、重厚な雰囲気になるかもしれません。

いろいろなパターンがありますので、ぜひメーカーのカタログ等をご覧になってご意見をいただければと思います。

◎早川委員長

新図書館はビルの中に入りますので、家具が雰囲気を決してしまうと言っても過言ではありません。ぜひ家具設計は慎重に進めていただければと思います。

では次に準開架書庫についてご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。一般開架と比べ書架が高く、書架間の通路幅が少し狭いため収蔵能力を高めた場所になります。

【準開架書庫について】

◎板橋委員

この場所は閉架書庫と違って一般の人も入れるのですか。

◎柴崎館長

おっしゃるとおりです。書庫は書庫ですが、一般の利用者が入って本を手にとって見ることができる書庫という考え方です。

◎板橋委員

そうしますと通路幅はあまりいらないと私は思います。2人ぐらい通れば良いのではないのでしょうか。なぜ準開架というのか説明をお願いします。

◎柴崎館長

準開架という言葉は以前はあまり聞かれませんでした。閉架書庫に入れてしまうと一般利用者は利用しにくくなりますので、収蔵能力を確保しつつ、利用者も職員も入ることができ、閉架書庫に入る一步手前の本の書庫という考え方になります。通路幅については車椅子の方が通れるくらいを確保したいと考えています。

ただし、書架の上部は、車椅子の方が手を伸ばしても本を取れないことはご了解を得る必要があります。

◎岡本アドバイザー

準開架書庫の考え方を広めるきっかけになったのは、2009年に新潟県立図書館がそれまでの閉架書庫の大体3分の2を一般の人が入れるようにしました。このことが弾みをつけたと思われます。このような形を取る市町村の図書館が少しずつ増えています。

ただし増えている理由としては、職員削減のし過ぎで人手が回らなくなったというのが大きく、新潟県立図書館の場合も苦肉の策というのが実情です。県立図書館としては書庫に誰もが入れることが望ましいかという議論があります。誰もが手に取れることは良い反面、貴重な資料が無くなってしまいうリスクが確実に増えてしまうからですが、名取市の場合は丁度良い取組みではないかと思えます。

◎早川委員長

南相馬市立図書館を見られた委員さんもおられると思いますが、2階は準開架という名前前にしています。ただ利用者にとっては完全な開架スペースとして利用しているはずで、2階スペースだけで10万点収蔵できるようになっています。

柴崎館長がおっしゃたように、名取市や南相馬市ぐらいの都市はなるべく多くの本を利用者が手に取っていただきたいという表れですね。車椅子の方への配慮ができれば、なるべく多くの方が座れて、かつ収蔵能力を高めるという相反する考えを両立させていければいいかなと思います。

◎三塚委員

武蔵野プレイスに行った際、古い本でも見せ方が綺麗だと興味が惹かれましたので、本の置き方の工夫でより多くの利用があるかもしれませんね。

◎早川委員長

佐賀県の伊万里市民図書館は、人は入れませんが積層の閉架書庫をガラス張りにして見えるようにしています。細かい問題はあると思いますが、今はIC技術により閉架書庫でもやりようによっては、利用者が入ってより多くの本に直接触れることができる時代になってきているのではないかなと思います。

以上他にご意見が無ければ、次に学習室とヤングアダルトコーナーについてご意見をいただきたいと思います。

【学習室とヤングアダルトコーナーについて】

◎三塚委員

学習室が少し狭いのではないかと思います、何人ぐらいは入れるのでしょうか。もう少し大きくした方が良くはないのでしょうか

◎柴崎館長

現在の形で、大体 50 m²で南館 60 m²より少し狭い程度です。先生席を含め 21 名の定員となっています。南側に広くスペースを取ることは可能ですが、その分一般開架スペースが狭くなります。

◎佐々木補佐

場合によっては、同じ施設 4 階の増田公民館との相互利用も可能ではないかと考えています。

◎三塚委員

一関市立図書館や紫波町図書館の学習室は広く、そういう部屋が二つぐらいありましたので、新図書館ではここしかないのかなと思いましたので。

◎柴崎館長

一関市立図書館は全体の面積が広いという事情があるかと思います。名取市の場合は、サービスを図書館内だけで完結させるのではなく、例えば夏休み中は学生へ開放するというように 4 階増田公民館の活用を視野に入れていきたいと考えています。

◎下澤委員

学習室の考え方について教えて下さい。定員 21 名で講義にも利用できる形なので、常に図書館資料を使って調べる方用の席として確保しているわけではないということよろしいでしょうか。

◎柴崎館長

机の配置は仮置きですが、学習室にも使え、他のイベントにも使えるという多目的な考え方しております。通常は学習室として、学生や社会人が自分達が持ち込んだ資料を使って勉強するスペースとして開放し、イベントがある場合はイベント用に使うというよ

うに考えています。

◎板橋委員

今は学習室というスペースはあるかもしれませんが、以前は学習室という考え方は無く、勉強したい人は一般の閲覧室で勉強していました。図面ぐらいの広さで良いのではないのでしょうか。学習室で勉強できなければ一般開架スペースで勉強してもらって構わないと思いますし、公民館利用もできるのであればなおさらです。学習室を使って勉強する人がいなければ、一般の利用者が学習室を利用することも考えられます。

◎志賀委員

学習室の運用について確認させて下さい。全くの自由にするのでしょうか、予約制にするのでしょうか。

◎柴崎館長

学習室の運用につきましてはこれから検討することになります。

◎志賀委員

ガラス張りの間仕切りというのはとても良いのですが、右側の壁もがガラス張りだとさらに良いと思います。それから出入り口のドアは観音開きのような形であれば出入りしやすいのではないかと思います。

◎柴崎館長

ドアについては引戸を考えています。

◎早川委員長

この図書館はオープンすれば相当利用者が来るようになります。先ほど座席数が 120 席で足りないと申し上げたのは、そういうことを含めています。勉強する人と雑誌を読む人との両立を目指していかないとトラブルに繋がりがかねませんので、学習室をどのように運用するかというのは大事なことだと思います。

ちなみに南相馬市立図書館には学習席は 1 席もありません。学習室を持たないという考え方です。勉強したい人は屋外の気に入った場所で勉強していますので、私も板橋委員の意見に同感です。

◎岡本アドバイザー

新図書館は広い施設ではありませんので、多目的室のような考え方は妥当なところではないかと思います。開館すれば相当利用者は来ると予想されます。岩沼市民図書館に

現在でも子ども達はかなり勉強しに行っていますが、こういう子ども達が当然新図書館を使うようになると思われます。そうすると閲覧席で勉強している中高生に対して閲覧席でも普通に本を読みたい大人との間に軋轢がどうしても生じてしまいます。

多くの図書館では学習室を自習用とし、すぐに埋まってしまいますので、予約性により多くの人ができるようにして、その席以外での自習は原則禁止としているケースが多いです。シャットアウトしてしまうと利用者を排除することになってしまうので、そういうことはせず、勉強部屋をつくりつつ、そこがあるから他で勉強してはいけないという言い訳にしているわけですね。私自身は図書館で自習することは良いと思いますが、伝統的な図書館の考え方では図書館の資料を利用していない勉強スタイルは認められないとなっています。わざわざ図書館に来てくれている人を排除する必要は無いので、学校の宿題をやっていることがきっかけになって図書館を使うようになることも有り得るので、あまり入口で排除する必要はないかと思います。

実際には蓋を開けてみないと分からないので、開館した時に緩やかにルールを作っていくしかないのかなと思います。名取市の場合は、多少利用の時間帯にズレが生じると思われます。おそらく一般の市民層が使われる時間帯と、下校する学生が使う時間帯とでは、時間差が生じるのではないかと考えられ、自然に利用層のすみ分けが図られるような気がします。

◎早川委員長

新図書館は隣接市町村の図書館設置状況や交通面からいっても、間違いなく仙台市や岩沼市からの利用者がたくさん来ると予想されます。ですから席数と収蔵能力の両立を厳しいぐらい、緻密な計画が必要になる図書館であると考えます。

◎佐伯委員

ヤングアダルトコーナーについてですが、学生をターゲットとして設けた理由はここでも学生は勉強できるという考え方になるのでしょうか。

◎柴崎館長

ヤングアダルトコーナーというのは、中高生を主に対象にして、子どもでも大人でもない微妙な年代の子ども達が居心地良く使えるコーナーという考え方です。ここには閲覧できる机を置きますし、譲り合いが基本になるだろうと思いますが、図書館の資料を使って勉強もできるスペースとして、また誰も使っていなければ柔軟な使い方もあるだろうと考えます。

写真のように机や椅子を置きますし、ここの運営については、市内の中学校や高校の図書委員の子ども達に声をかけて本を選んだり展示をしたり、図書館といっしょになっ

て何か運営できるようなことを考えています。

◎板橋委員

バルコニーの座席数を増やしてもらえればありがたいと思います。

◎早川委員長

私も板橋委員と同意見です。南相馬市立図書館でも10代の子ども達に大人気で、バルコニーで必死に勉強している子もいます。こういう場所は魅力的で、一般の方の気分転換にもなる空間です。もしご配慮いただけるのであれば増やすようにお願いします。

◎柴崎館長

時間になってしまいましたので、情報発信コーナーについて少しだけ説明させていただいて、次回の検討委員会でご意見をいただきたいと思います。

情報発信コーナーは新図書館の一番目玉となるコーナーにしたいと考えています。

名取市に関するあらゆる情報の発信の場であり、MLA連携とって図書館と文化財の現物資料をいっしょに展示することでサービスの魅力を高め、企画展示を積極的に行い、デジタル情報の活用により来館者の興味関心を喚起するとともに、より深く学ぼうとする意欲を高められる場所という考え方です。

この情報発信コーナーの機能は3つです。一つ目は展示、二つ目は学習、3つ目は交流です。

具体的なイメージとしては、約7,000冊程度の郷土行政資料と2,000冊程度の震災関連資料を置き、書架のイメージで5連複式が4列程度は必要ではないかと考えています。それから展示ケースを用意して文化財の現物資料を置き、その傍に書架や図書の展示棚を設け、また企画展示ができるスペースも確保したいと考えています。

学習機能につきましては、郷土資料を使って調査・研究する人は多くいるのですが、そのための閲覧機と椅子を置き、タッチパネル型のデジタルサイネージを活用して少ないスペースでも多くの情報を発信し、また利用者が自ら必要な情報を得られるようにしていきたいと思っています。

それから交流の機能としましては、例えば小校外学習で小学生が来た時にグループで説明を聞いたり、あるいはミニ講演会や講座ができるようなフリースペースを確保したいと考えています。

全体的にはこの中は落ち着いた雰囲気とし、閲覧用の机はなるべく書架の近くで利用者が学習しやすいように配置し、フリースペースは学習者の邪魔にならないような位置に配置できればいいのではないかと考えています。

◎早川委員長

事務局から情報発信コーナーについてご説明がありましたが、時間の関係で次回の委員会で協議するという事でよろしいでしょうか。

◎志賀委員

具体的な説明がありましたが、今回の資料ではどのようになるのかイメージできません。ビジュアル的なものを用意してほしいと思います。

◎柴崎館長

次回の委員会では図面に入れ込みまして、委員の皆様に見ていただいた上で様々なご意見を伺いたいと思います。

◎早川委員長

その他よろしいでしょうか。では本日の議題（１）と（２）は以上とさせていただきます。ありがとうございました。事務局に進行をお渡しいたします。

◎事務局

次回の検討委員会の日程は10月2日午後2時から、名取市図書館南館を予定しています。改めてご通知を差し上げるようになりますのでよろしく願いいたします。以上をもちまして本日の検討委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。